

「造血幹細胞移植前処置としての全身照射の対象疾患および照射方法の全国調査」へご協力をお願い

—平成22年1月1日～平成26年12月31日までの間に当科において全身照射を受けられた方へ—

研究機関名 岡山大学病院 放射線科

責任研究者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻腫瘍制御学講座
放射線医学分野 教授 金澤 右

研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻腫瘍制御学講座
陽子線治療学講座 准教授 勝井邦彰

1. 研究の概要

1) 研究の意義

造血幹細胞移植前処置としての全身照射の全国の実施件数および実施方法を調査し、全身照射の日本の現状を把握するとともに全身照射の実施体制の整備に寄与することを目的とします。

2) 研究の目的

本調査研究では、造血幹細胞移植前処置としての全身照射の全国の実施件数および実施方法を調査し、以下の点を明らかにすること目的といたします。

- (1) 本邦における全身照射の診療実績を明らかにする。
- (2) 本邦における全身照射の方法を明らかにする。
- (3) 過去の全国実態結果と比較検討し、近年の全身照射の実態を明らかにする。

上記 (1)–(3) の達成により、最終的に全身照射の診療体制の整備に寄与することを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成22年1月1日～平成26年12月31日までの間に岡山大学病院放射線科において全身照射を受けられた方110名を研究対象とします。

2) 研究期間

平成28年3月開催研究倫理審査部門委員会承認後～平成29年12月31日

3) 研究方法

平成22年1月1日～平成26年12月31日までの間に当院において全身照射を受けられた方の、診療実績、照射方法、全身照射の実態に関する分析を行います。兵庫県立がんセンターを主幹として全国的な調査を行います。

4) 使用する試料

試料は使用しません。

5) 使用する情報

研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し集計させていただきます。個人を特定できる情報は収集せず数を集計します。個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払い

ます。

- ・病名、放射線治療の内容など

6) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後5年間保存させていただきます。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、放射線科のホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

7) 情報の保護

調査情報は個人が特定できない情報のみを岡山大学病院放射線科内で厳重に取り扱います。パスワードをかけたエクセルを作成しパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報があった場合は、施錠可能な保管庫に保存します。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。

また、この研究では、個人が特定できる情報は収集しませんので、個人情報の開示は不可能です。

この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学 陽子線治療学

氏名：勝井 邦彰

電話：086-235-7313 ファックス：086-235-7316